

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	住宅需給構造小委員会		主 査 名：吉川 徹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤 正雄 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1.住まい手の需要に応じた住宅供給システムと、実現のための政策に関する研究 2.ライフスタイルの観点から見た住宅需要の分析 3.住宅需給に関する戦後の年表作成に向けた資料体系化		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	伊藤 史子／首都大学東京・藤岡 泰寛／横浜国立大学・松本 真澄／首都大学東京 加納 国雄／都市再生機構・木内 望／国総究・橋田 洋子／シトラス 左海冬彦／建築研究所・志岐 祐一／日東設計事務所・首藤 亮一／都市再生機構 瀬川 祥子／NEXCO 東日本・田中 勝／山梨大学 生田目 裕／東京都宅地建物取引業協会・米野 史健／建築研究所 吉川 徹／首都大学東京・頼 あゆみ／住宅金融支援機構		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2012 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/jj/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (他に作業打ち合わせ 3 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1.被災地の仮設、本設住宅の需給に携わっている委員から報告を受けた。 2.多摩ニュータウンにおける高齢者の住宅需要を中心に分析し、成果を得た。 3.戦後の団地供給史に関する委員による図書の出版報告を受けた。
委員会活動の問題点 ・課題	1.被災地の仮設、本設住宅の需給について継続的に観察したい。 2.高齢者の住宅需要について多摩ニュータウン以外の事例との比較を図りたい。 3.住宅供給史に関する分析成果を深化させたい。